

文部科学省科学研究費基礎研究(B)

「三関周辺における古墳時代から古代の地域動態に関する総合的研究」

中間報告シンポジウム 垂井町文化会館

「美濃の新たな7世紀像の構築に向けてー航空レーザ測量成果を活用した遺跡研究ー」

2025年2月22日

## 【プログラム】

### ◎導入～科研事業の成果報告を中心に～

- \*「科研の進行状況と中間報告について」 梶原義実(名古屋大学)
- \*「垂井町綾戸古墳の測量調査」 若山鈴奈(養老町)
- \*「垂井町栗原・大平古墳群の遺物整理」 田中優衣(名古屋大学・博士前期課程)
- \*「航空レーザ測量と遺跡研究」 中井正幸(岐阜聖徳学園大学) 知本孝治(株式会社イビソク)

### ◎終末期古墳からのアプローチ

- \*「終末期古墳の分布と展開～美濃大野の事例～」 岡田勝幸(大野町)
- \*「中濃における終末期古墳の様相」 島田崇正(富加町)
- \*「東濃の古墳分布と古代の道」 澤井計宏(土岐市)

### ◎古代寺院と瓦からのアプローチ

- \*「美濃における古墳～古代移行期の地域動態に関する予察」 梶原義実(名古屋大学)

### ◎研究成果の活用について

- \*「研究成果の地域での活用事例」 中井正幸(岐阜聖徳学園大学)
- \*「垂井町の取り組み」 ①南大塚古墳の町指定 ②大滝西山古墳の測量調査 原田義久(垂井町)

◎まとめ「美濃の7世紀を考える」 司会:中井正幸 パネラー:梶原、岡田、島田、澤井、原田(報告順)

※所属はシンポジウム時のものです